

家庭で学習するということ

第5回試験を前に、期せずして、家庭学習の時間がやってきました。こうした時間を有効に使えるか否かが、最終的な学力向上と大きな関係があります。これをきっかけに、家庭学習の習慣を確立させましょう。

目標→課題→実行のサイクルを。

常々「目標達成シート」で訓練していることですが、**学習は、時間や量ではありません。**いくら時間をかけて勉強しても、内容を理解していなければ意味が無いからです。

まずやることは、**トレーニングの「めあて」をたてること**です。この50分の自習を通して、何ができるようになるのか。常に自問自答することが大切です。50分はいくつかのブロックに分けるとよいでしょう。15分で単語を50個覚える。25分で英文法を確認し、その文法をつかった例文を5種類作れるようになる。4分でリスニング、2分で聞き取れなかったところのスクリプトを確認、4分かけてまた音源を聞きなおす、などです。

中学2年生が終わるこの時期にもなって、**まさかいないとは思いますが、何をしたらいいかわからない人**は、まず普段使っている教材を机に並べてみることから始めましょう。全体をざっと眺め、授業で普段何をしているのかを思い描くことです。頭でいくら考えていても答えは出ません。とにかく動いてみることに。一度動けば、どのくらい足りないか理解できます。

繰り返し強調しますが、**時間や量でなく、理解することを目標にすること**。こればかりは君たちの気持ちによらなければいけません。しかし、チェックテストを学習の中に放り込めば、理解度を確認できます。面倒くさがりやの君は、単語にしる、文法にしる、チェックができるような問題集を買えばいいだけです。

生活リズムを崩さない。

まず、きちんと起きることをお勧めします。起きたら、必ず、**着替えること**。シャワーを浴びるもよし、体操をするもよし、動くことが重要です。そうしたら、必ず、**時間割通りに動くこと**。漫画、テレビ、ゲームはなしです。せいぜい昼休みの時だけでしょ。特にゲームは息抜きのつもりでも、脳は疲れ、勉強の頭には戻りません。少なくとも、一日のプログラムが終わるまではゲーム禁止です。

どうしても集中できない人はタイマーを使いましょう。時間を設定することはとても有効です。それでも集中ができないなら、「20分学習→10分休憩→20分学習」のサイクルでもかまいません。とにかく**時間のルールを設定することが重要**です。

家庭学習に向いている学習を考える。

家庭学習で注意することは、**教えてくれる人がいないこと**です。したがって、英単語や古文単語などの知識注入はやりやすい一方で、数学や現代文のような科目は工夫をしないとダメです。スタディサプリなどを用いて、**講義で理解→問題にチャレンジ**の手順を意識しましょう。もちろん、既に理解しているものを復習として確認するのであれば、いきなり問題演習で構いません。そうでないのであれば、まずはレクチャーしてもらうことを忘れずに。

休業中の家庭学習について

次の時間割にしたがって、学習を進めてください。

課題配信や提出、健康観察等はクラスルームで行いますので、**毎朝8:30までに確認**してください。

	月	火	水	木	金
9:00-9:50	英語	数学(幾)	数学(代)	国語(古漢)	数学(代)
10:00-10:50	数学(代)	英語	国語(現)	数学(幾)	英語
11:00-11:50	国語(現)	国語(古漢)	英語	英語	国語(現)
11:50-13:00	お昼休み				
13:00-13:50		理科		社会(歴史)	
14:00-15:00		社会(地理)		理科	

【やることリスト】

- 英語
別紙参照
- 国語
別紙参照。同じものをクラスルームにもアップします。
新書を読む課題を出すので、図書室か学年文庫から必要に応じて借りるのを忘れないこと。
- 数学 ※教科書の演習問題 A および演習問題 B について、全単元の問題を解いて答え合わせをする。
(代数編と幾何編で、共通の課題)
(幾何):教科書の残りの問題(例題と練習問題)を解説。定刻に着席をしてクラスルームに接続しましょう。
(代数・幾何とも):完成ノートの提出日は終業式 3月 24 日の予定です。
- 社会
(歴史):スタディサプリ「第22講 江戸時代(7)」から先にすすんで予習をしていってください。
受講中はたくさんメモをとり、チェックテストを必ず完了させること。
(地理):スタディサプリ「第12講 ラテンアメリカ」から先にすすんでください。
- 理科
理科ABともに問題集を使って試験勉強を進めてください。理科Aはスタディサプリ「中2理科化学 1講、3講、4講、6講」「中3理科化学 1講、2講(電気分解部分)」を参考に。それも終了したら第1回～第4回テストの解き直しをして1年の総復習。(問題がない人のためにクラスルームにアップします)

一日の終わりに手帳などに記録をつけること。「いつ」「何を」勉強し、どこで集中力がきれて、どこが集中できていたのか。自宅学習期間中に学習記録の提出を求められたら対応できるようにしましょう。

- 最小単位にどのくらい時間がかかったか
- 一定時間でどのくらいの量ができるか
- 一週間でどのくらい進んだか
- 一週間で何をどのくらいやって、何をやっていないのか